

菰野町郷土研究会

1980年に設立された町民による自主サークル「菰野町郷土研究会」。菰野町の歴史や文化を学び、次世代に伝えることを目的として、菰野町大羽根園に住んでいた医師、故・三輪 龍男氏が発起人となり、当時の郷土資料館の館長、郷土史研究者であり菰野町名誉町民の故・佐々木一氏に講師を依頼したことでスタートしました。現在会員は56名。佐々木氏から学んだ、郷土の歴史や文化、風土、人物伝などを子や孫に伝え続ける活動を中心に、毎月活動しています。



代表幹事 中村 誠さん

お問い合わせ

「菰野町郷土研究会」
TEL 090-8070-3055

今年9月に活動500回の記念回を迎える、歴史ある「菰野町郷土研究会」。今年度は500回記念に向けて、さまざまな活動を実施しています。「地域の方も知らない郷土のこゝと、郷土の歴史がまだたくさんあります。もつと興味を持ってもらい、記憶に残し、伝承できるように、この機会に地域を巻き込んで一緒に取り組んでいきます。」と語る、代表幹事の
中村さんにお話をお伺いしました。

——主な活動内容を教えてください

中村：毎月第2日曜に年10回のペースで、毎回テーマを決めて計画的に活動しています。佐々木先生が著された多くの

文献を教材に、会友が得意分野を担当したり外部講師を招いたりして、講座を開き知見を深め合っています。そのうちの年2回ほどは、オープン講座を開催。会員以外の方も募集し、菰野町郷土史跡などの文化財を訪れたり、バスで遠方へ出向き、他地域の文化や歴史に触れたりして勉強しています。昔のことはもちろんですが、企業訪問に行くなど、現代のことを含めて「地域」のことを学ぼうと意識して活動しています。また、地域の文化遺産活用実行委員会の一員としての活動や、文化財ボランティアとして清掃活動なども行っています。

——故・佐々木一氏の遺志をつないでいこうじゃないですか

とをされるのでしょうか

中村：500回の記念となる9月13日には、第一弾として、千種地区音羽の方々が500年もの間、護り続けている「虚空蔵菩薩」についての公開講座を「千種地区公民館ホール」で行います。オープニングでは、「三重県を中心に音楽活動をしている正水百代さん」と、「全日本リコーダーコンテスト」で最高賞を受賞したいなべ市の中学1年生、服部のどかさんのコンサートを予定しています。翌週19日には第二弾を「菰野町民センターホール」で行う予定です。ぜひ多くの皆さま

にご参加いただき、郷土・菰野への想いを共有していただければと思います。

——中村さん個人的にも伝承のための活動をされていますか

中村：はい、この地域の一人でも多くの方に菰野のことを知ってもらいたいという想いで、地元で朝行うラジオ体操のあとに「10分間お話し会」を10年程続けました。菰野町に伝わる民話や地元の偉人の話、歴史や文化などの「こぼなし」を、集中して聴ける、10分間に分かりやすくまとめ話します。これがけっこう盛況で、40人から50人、多いときには200名ほど

中村：佐々木先生は、発足当時から体調を崩される直前まで実に390回以上も一度も休むことなく、私たちに郷土・菰野のことを多岐にわたって教えてくださいました。親しみやすく、人情味があふれる民族的・郷土史研究者で、三重県文化奨励賞や文化庁・地域文化功労者賞など、数々の荣誉ある賞を受賞されています。また、たくさんの刊行本も著作され、特に「広報こもの」に1978年から36年間もの長期にわたって連載された、「歴史こぼなし」シリーズは、郷土の今昔がやさしい語りで紹介されており、今でも研究会の教材として使用しています。

——500回の記念回は、特別なこ

集まります。現在は自治会に引き継ぎ、継続中です。また、500回記念に向けた活動の一環として、地元の小学生に「音羽の虚空蔵寺にかかわる授業」をさせていただきました。この内容は記念回の講演につながる内容で、実際に虚空蔵寺で行ったので、子どもたちは熱心に興味深く聞いてくれました。興味のある方は9月13日(日)にぜひご参加ください。

——研究会では随時、仲間を募集中です。たくさんの方々には伝承されると良いですね。本日はありがとうございました。

インタビュー：大島千佳



故・佐々木 一氏 ※



南知多・三河方面への視察研修 ※



「朝の10分間お話し会」にて ※



音羽地区の虚空蔵菩薩 ※

500回記念パートI
2026年9月13日(日) 10:00~12:00
会場：「千種地区公民館ホール」
「音羽地区の虚空蔵菩薩」
入場無料

※印の写真は取材先から提供していただきました